

物理探査学会第145回学術講演会 参加報告

日時：令和3年11月24日（水）から26日（金）

会場：サポートホール高松（香川県高松市、およびWebのハイブリッド開催）

会場は、高松駅から徒歩1－2分程度の距離で、非常に交通の便が良いところでした。

今回、先に対面での学会開催が決まっていたので、ワクチン接種が遅れた岩手県民としては参加できるかどうか事前にはわかりませんでしたので自分や学生の発表は無しです。純粋に他の方の研究発表を聞くための参加でした。まだまだ、他の学会の学術講演会はWeb開催が多い中、オンサイトでの学会発表と、その発表内容を同時にWebで中継して、対面参加できない方はWeb参加する「ハイブリッド」開催を実施していただき、学術講演会の委員の皆様はたいへんご苦労されたと存じます。Web開催では発表内容は理解できますのですが質問時間が短く、細かいところまで質問できません。対面開催だと、講演時間以外のところで質問（雑談?）ができるのでやはり遠くまで出向くかがあります。ポスターは、会場では現物が展示されており、コアタイムではWebで発表者がかんたんに説明するという方法でした。ただ、こちらこそ、いつかは対面での議論が望まれるでしょう。残念ですが、少々物足りませんでした。

「3次元地盤モデル作成のために微動探査」のセッションは刺激的でした。そもそも市街地で数十台の微動計を同時に設置する事自体が費用の面、労力の面を考えると大変だと思われそうですが、それでも、ボーリング掘削で3次元調査を行うことに比べれば信じられないくらいの費用対効果なのでしょう。微動探査もここまで来たのかと身が引き締まる思いでした。



左の写真は高松駅構内にある有名な「連絡船うどん」。残念ながらちょうど学会終了後の11月30日に閉店するそうです。いまでは全国チェーン店のおかげで讃岐うどんがそんなに変わったものと思われなくなりましたが、昔はこの地区でしか美味しいさぬきうどんは食べられませんでした。学生時代に、宇高連絡船で食べたうどんがとても美味しかった記憶があります。この店は駅構内にありますが、駅の外からでも食事が可能です。これも「ハイブリッド」。学会期間中、2回もこの店でうどんを頂きました。美味しかったです。